

にかほ市と秋田県立仁賀保高等学校との

連携に関する協定について

【趣旨説明】

仁賀保高校は旧仁賀保地区 3 町の地域の子供たちに高校教育の場を地域内にとの思いで、昭和 52 年に開校し、以来、40 年あまり、地域を支える人材の育成を担い続けてきました。

平成 17 年に合併し誕生した「にかほ市」においても、その存在意義は大きく、市内唯一の高校として地域に根差し、高校教育だけでなく多くの地域活動・ボランティア活動に取り組んできたことは市民の誇りであり私達の希望でもあります。

また、平成 15 年に設置された「情報メディア科」は、「情報テクノロジー」と「情報メディア」の専門的な知識を学ぶ学科として、全国でも 20 校程しかない貴重な学科であり、IT 産業を支える人材の育成に貢献すると共に、その先進性と発展性には多くの期待が寄せられています。

そうした中、我が国は少子高齢化社会の進展に伴い、日本全土で人口減少が進み、にかほ市も平成 17 年の合併時に 29,000 人程いた人口が、今では 25,000 人弱と、当時に比べ約 4,000 人が減少しています。

少しでも人口減少のスピードを緩やかにするためには、私達のこの恵まれた自然と食・歴史・文化などの環境の中で快適に暮らし、子どもたちを育て、そして安心して老後を過ごせるまちづくりを進めていく必要があります。

継続して活力あふれる地域社会を構築する為には、地域を担う人材の育成が必須であり、市では「若者に魅力のあるまちづくり」を基本目標の一つに掲げ、市民と協働で取り組んでおります。

地域で学び、環境を共有している仁賀保高校の学生が、まちづくりに柔軟な視点や感性を反映させ、「自分たちのまちを、未来を楽しく、面白くしていくため」の新しい企画やアイデアを形にしながら、地域の一員として地域課題に積極的に取り組む学校を、地域全体で支え、これまでの協力・連携体制を更に強固なものとするために、次の項目に関する協定を締結します。

【連携協定事項】

- 地域を担う人材の育成及び教育に関する事
- まちづくり及び地域課題の取組に関する事
- 地域福祉の向上に関する事
- 安全安心な地域づくりに関する事
- その他前条の目的を達成するために必要な事項

相互の密接な連携と協力のもと、それぞれの資源や機能等を有効に活用し、活力ある地域社会の形成、及び人材の育成に努めると共に、双方にとって有益で持続性のある連携を進めて参ります。